



高台

千歳市立高台小学校 学校通信 No.10 令和5年2月24日

2・3月の生活目標

「学年のまとめをしよう」

1. 気持ちのよい返事をしよう。
2. 授業のルールを守り、学習のまとめをしっかりしよう。
3. 学校の中でも外でも、自分から元気にあいさつをしよう。

子供の自立に向けた、よりよいかかわり・よりよい支援について

校長 松田 宏明

先週で全学年のスケート学習が終了しました。スケートは困難を乗り越えなければ上達は望めません。今シーズン、たくさんの子が障害を乗り越えて成長し、喜びをつかみとっているシーンを見ることができ、大変嬉しく思います。特に1年生。「スケートが初めて。」という子が多い中、そして、厳しい寒さの中で努力を続け、「楽しい。」「まだ、滑りたい。」と明るく逞しく成長する姿が見られ、感動すら覚えました。応援やお手伝いに来てくださった保護者・地域のみなさん、ありがとうございました。さて、老子の言葉とされている以下の格言があります。

「人に魚を与えれば、1日は食べさせることができるが、魚のつり方を教えれば、一生食べさせることができる。」

これは、教育や子育ての本質である「自立」につながる考え方です。

スケートでいうならば、靴紐の正しい通し方や結び方、足裏感覚を大切にしたスケートの刃が垂直になる立ち方、推進力をうむ氷の押し方、効率のよい滑り方（姿勢、手の振り方、体重移動）等、必要なこと（魚のつり方）を教え、後は子供に体験させる（魚をつらせてみる）ことが大切です。実際に成功体験（魚をつった喜び）を得た子は、新たな喜びに向かって自主的に（魚をつる）行動を起こしていくでしょう。できるだけ自分でやらせ、つまずいた部分（本気で力を発揮してもできない部分）だけ、手を貸す（支援する）ことが大切です。できない部分も本気で力を発揮してやってみることで、徐々に力は向上します。少しずつ支援することが少なくなり、自立へと繋がります。手を貸しすぎることは、格言による「魚を与えること」につながり、「一生食べさせること」にはつながりません。この手を貸す（支援する）さじ加減が非常に難しいところです。今後も、様々な場面で、逞しく生きぬく子供が育つ生き方（魚のつり方）を指導し、子供たちを支援していきたいと思っております。

話は変わりますが、みなさんご存じの「百聞不如一見（百聞は一見にしかず）～人から何度聞くよりも、実際に自分の目で確かめなければ意味がない」という中国の諺がありますが、この諺には、後に付け加えられた続きがあるようです。

百見不如一考（百見は一考にしかず）～たくさん見ても、それを自分で考えなければ意味がない。
百考不如一行（百考は一行にしかず）～いくら考えても、考えた事を実行に移さないと意味がない。
百行不如一効（百行は一効にしかず）～行動を起こしたところで、成果を得られないと意味がない。
百効不如一幸（百効は一幸にしかず）～成果が上がっても、それが幸せに繋がらないと意味がない。
百幸不如一皇（百幸は一皇にしかず）～個人の幸せだけでなく、みんなの幸せが大事である。

この諺からも感じることは、体験の大切さです。その体験も、諺の中では、（聞く⇒見る⇒思考⇒実行⇒成果⇒幸福⇒全体の幸福）と、レベルアップしたものになっていることがわかります。ただ人の話を聞いているだけではなく、実際にたくさん本物を見て確かめ、たくさん自分で考え、たくさん夢に向かって行動し、たくさん成果を上げ、たくさん幸せをつかみ取り、その輪を広げていく・・・という実体験を数多く子供たちに味わってほしいと強く願っています。

子供が自立していくための学校・家庭・地域の必要なかかわりについて、今後も機会を作りながら共に熟議を交わし、よりよい支援を行っていきたくと考えています。

3月行事

5年トヨタ自動車オンライン授業

社会科「日本の自動車生産にはげむ人々」についての学習で、1月30日にトヨタ自動車とオンラインでつなぎ、自動車産業についての紹介や自動車生産における工夫を説明していただきました。普段見ることができない生産現場などを見ることができたり、直接質問に答えてもらったりして、5年生にとって日本の基幹産業の1つについて知る充実した学習となりました。



新入児童体験入学会

4月に高台小学校に入学する幼児の学習体験とその保護者への入学説明会を1日に行いました。体験では、名前を呼ばれたら手を挙げて元気よく返事をしたり、折り紙やお絵かきをしたりしました。1時間ほどの短い時間でしたが、体験後は子どもたちから笑顔がたくさん見られ、4月からの小学校生活への楽しみが一層高まったようでした。



3年校外学習～恵庭市郷土資料館

8日に今年度最後となる校外学習をしてきました。恵庭市郷土資料館を訪れ、展示物やデジタル資料画像などで、縄文時代から昭和までの人々の生活で使われた道具の移り変わりについて学習してきました。石臼をひいたり、火起こしをしたり、天秤棒を担いだりするなど、昔の道具を実際に使ってみる体験もしてきました。帰校後は調べてメモしたことをしっかりとまとめていました。



参観日～二学年ずつの分散開催

7日～14日の期間に、二学年ずつ今年度最後の参観授業を行いました。子どもたちの学習に臨む姿勢に、1年の成長を感じていただけたのではないかと思います。授業後の懇談にも多くの保護者に参加いただきました。ご来校いただきありがとうございました。

なかよしあそび～縦割り班活動

16日に活動を行いました。それぞれの縦割りグループが事前に計画した遊びで楽しい時間を過ごしていました。6年生から1年生までが1年を通して交流し、お互いを気遣いつつも気が置けない関係を築くことができている。28日には「なかよしお別れ会」が予定されており、慣れ親しんだメンバーと最後の交流をします。



味噌・塩麴造り～ひだまり学級

17日に地域学校協働活動によるボランティアの方々のご協力を得て、ひだまり学級の児童たちが味噌と塩麴造りに挑戦しました。ゆでた大豆を指先ですりつぶす作業を楽しそうに行い、作業後は満足げな表情を見せていました。味噌は7か月ほど寝かせて完成の予定です。



日	曜	行 事
1	水	学級文庫移動 フッ化物洗口 育成指導
2	木	ひだまり5時間授業 (期末面談④)
3	金	午前B日課 6年生を送る会 ひだまり5時間授業 (期末面談⑤)
4	土	
5	日	
6	月	6年図書返却期間(~10日)
7	火	*SC勤務日
8	水	フッ化物洗口 放課後学習
9	木	
10	金	6年祝い給食
11	土	
12	日	
13	月	卒業式練習① 清掃強化週間(~23日) 1~5年図書返却期間(~17日)
14	火	
15	水	フッ化物洗口
16	木	卒業式練習②
17	金	卒業式前日準備(456年) 大掃除(6年)
18	土	第53回卒業証書授与式 4年生以下休業
19	日	
20	月	振替休業日
21	火	春分の日
22	水	卒業式後片付け(5年)
23	木	大掃除(1~5年) *SC勤務日
24	金	B日課4時間授業 修了式 離任式
25	土	学年末休業
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

1年つくし幼稚園との交流～幼小連携

先月の保育園に続き、今回は21日につくし幼稚園の園児80名あまりが本校を訪れ、1年生と交流をしました。40名ずつほど2回に時間帯を分けて来校してもらいましたが、それぞれ、おむすびころりんの劇を見せたり、きつねダンスと一緒に踊ったり、小学校に関わるクイズを出題したりして、先輩として園児たちをもてなすことができました。園児たちは楽しかったと喜んでくれ、お互いにとって有意義な交流となりました。

